

163 精神機能の発達に対する海馬神経新生の役割の解明

内田 周作

うつ病の発症には遺伝的要因のみならず環境的要因（ストレス）が大きく作用すると推測されている。ストレス脆弱性はうつ病発症の要因となり得ることが指摘されているものの、そのメカニズムは依然不明である。最近、うつ病などの精神疾患の病態に対して、成体海馬における神経新生の役割が注目されている。しかし、脳発達段階における海馬神経新生とストレス脆弱性との関連は不明である。そこで本研究では、ストレス脆弱性の形成機序に対する脳発達段階における海馬神経新生の役割を検討した。その結果、幼若期のストレス脆弱性マウスにおける海馬歯状回の神経新生は、ストレス耐性マウスに比べて有意に減少していた。また、幼若期のストレス脆弱性マウスの海馬神経新生を薬理学的手法によって増加させると、成体期におけるストレス反応が変化した。以上の結果から、幼若期の海馬神経新生が成体期のストレス反応性に重要な役割を担っていることが示唆された。

幼若期の海馬神経新生が成体期のストレス反応性に関与

